

赤ちゃんが竜二にやってきました！（10/29 掲載）

10月27日(火)にライフデザインセミナーが開かれ、赤ちゃん和生徒たちが交流しました。この取り組みは、保育を学習する上で、赤ちゃんに触れ合う経験を通して、家庭生活の意義やその生活の在り方を具体的にイメージし、ライフデザインを形成するために毎年行っています。

今年は、3時間目に「子どもの発達と保育」の一環として人間文化科2年生を、5時間目に「生活産業基礎」の一環として人間文化科1年生をそれぞれ対象として、地元NPO法人の協力によって実施しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、あらかじめ用意した3つの質問にお母さんが答える形式で進められ、最後に代表生徒が赤ちゃんに触れ合うという例年とは違った交流になりました。生徒たちは、「だっこしたら泣いてしまった。赤ちゃんをあやすのは難しい。」、「赤ちゃんはかわいい。触れ合う機会がないので、赤ちゃんを身近に感じる有意義な機会だった。」などの感想を述べていました。

コロナ禍にもかかわらず、赤ちゃんと直接触れ合える貴重な機会をいただきました。



地元NPO法人の協力により実施



あらかじめ用意された質問に答えています



代表生徒が感想を述べています